

# かながわ ユースフォーラム 2020

報告書



主催 かながわユースフォーラム実行委員会2020  
(神奈川県社会教育過程 学生有志)

# かながわユースフォーラムとは？

ユース(若者)が集まって、ボランティアや地域のことを新たに知る。

いろんな人の経験や考えを聴きながら、「自分ごと」として考える。

同じ気持ちを持っている人、自分と違う考えの人と交流することができる素敵なイベントです！

年齢を越えて色々な人と出会いたい！

地域の新たな一面に気づきたい！

ボランティアって実際どうなのか知りたい！

今までとは違う自分になってみたい！

そういった思いを持っている人同士で、新しいことに出会えるきっかけの場になりました。

一步踏み出す 広がる未来



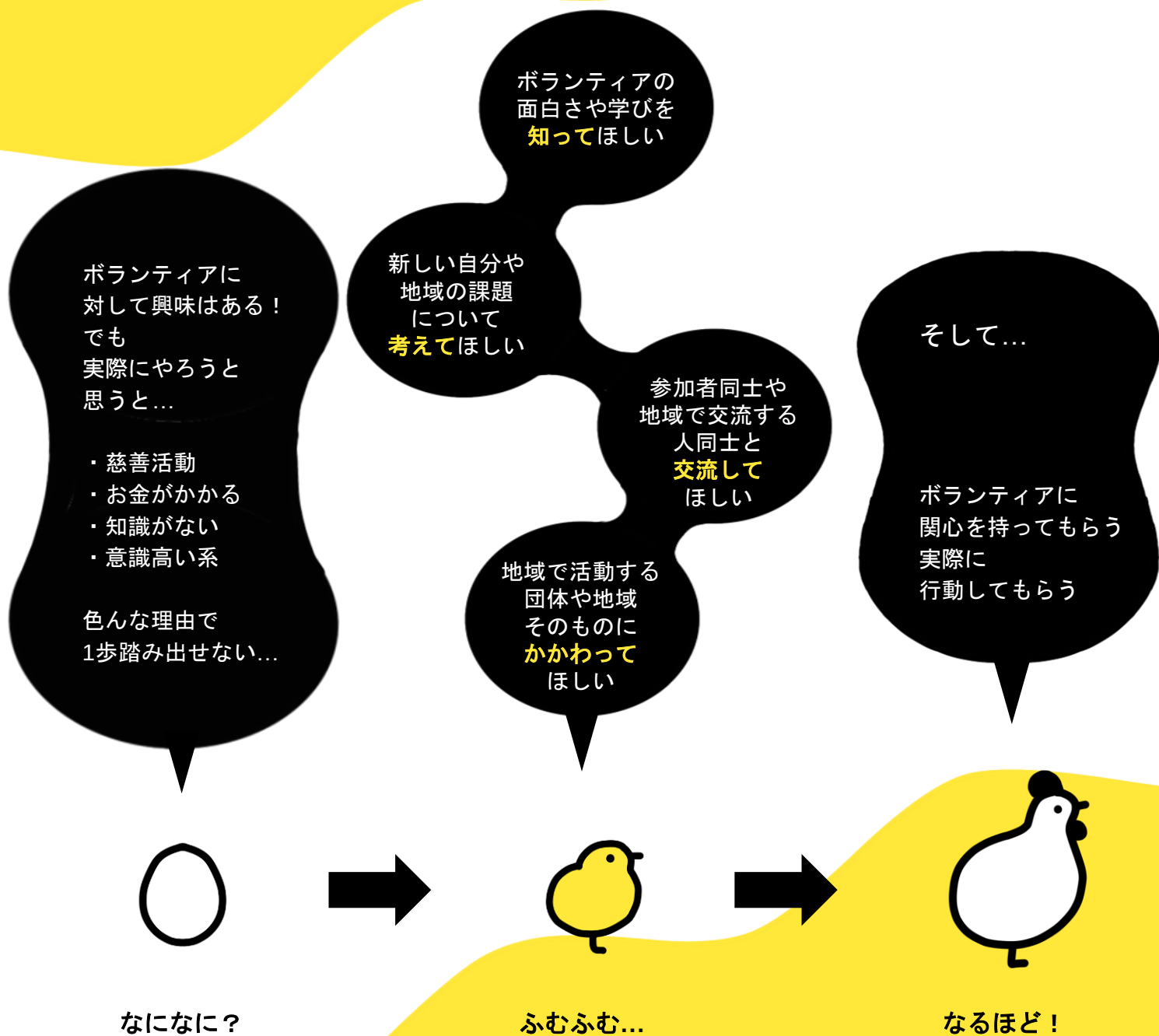
## フォーラム実施に関わった先生のコメント



「かながわユースフォーラム」は、かながわを中心とするユース（大学生・高校生）による社会参画型交流イベント。2020年度は、「若者自らが、一步踏み出すひろがる未来」をコンセプトに、様々な地域課題を「知る」「考える」「交流する」を主とした。発信の中心は、神奈川大学社会教育課程の学生たち。コロナ禍で、初オンライン事業にて沢山の紆余曲折を乗り越えた。学生・地域の喜びと成長を実感した。これからも、若者の「やりたい」を全力で応援し続けたい！

神奈川大学 齊藤ゆか（かながわユースフォーラム実行委員長）

## フォーラムが目指すボランティア参加への3ステップ



# PROGRAM

## 全体会



ボランティアって堅いとか真面目をイメージがありませんか？  
今回は実際にたくさんのボランティア活動を経験してきた大学生お二人  
にお話をしてもらいました！

お話の中で「好きを突き詰めることがボランティアに繋がったりする」  
というのが、多くの参加者・実行委員の心に刺さりました。

ゲストスピーカー

猪俣悠介 横浜国立大学学生 はまみらいプロジェクト  
清水理紗子 神奈川大学学生 宇宙エレベータープロジェクト

敬称略

START

13:00～

## 分科会

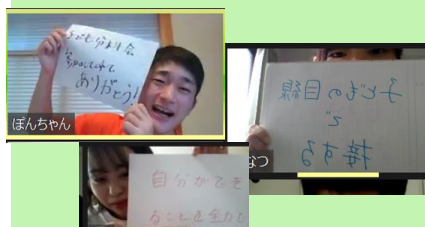
### 子どもとの接し方



子どもと思いきり遊びたい！

子どもと関わる時、子供の立場  
に立って考えることは大切です。  
自分が子どもの頃、嬉しかったこ  
と・嫌だったことを思い出して絵に  
描いてみました。

共有してみると、似たような嬉し  
かった・嫌だった経験が、たくさん  
あがりました！！



最後はみんなで宣言を紙に書きました！！

### 多文化共生



共に生きるってどういうこと？

中国にルーツがあり、高校生の時  
に日本に来日した白さんに、**実体験**  
を語っていただきました。

また、外国の方と接するときの、  
**不安**や、お話の感想、これからどん  
な風に関わっていくかについて、グ  
ループで話しました。言語に不安を  
抱えている参加者が多かったです。  
コミュニケーションも共生の一つ  
まずは簡単な挨拶からはじめてみ  
ることが大切だと思いました！



ゲスト

白聖聖 神奈川大学 卒業生

### ジェンダー

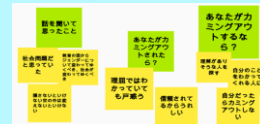


意外と身近なLGBT+

今回はジェンダーの中でも、LGBT+  
とカミングアウトを取り上げました。  
まず、井上先生に「**LGBT+**って何？」  
次に大学生に「カミングアウトの経  
験」を語っていただきました。

そして「自分がカミングアウトする  
なら？またはされたら？」をテーマに  
話しました。

カミングアウトを普通のこととして  
受けとめたい・もっと知りたい、とい  
った意見が出ました。



ゲスト

井上匡子 神奈川大学 法学部  
NPO法人かながわ女性会議副理事長



## 特別企画 子どもスポーツ



チームごとに、サッカーが得意な大学生がアドバイスをを行う予定でしたが、イベント当日・振替日、2回の雨に見舞われ、中止に...

後日動画を送って、リフティングに挑戦してもらいました！



## リフレクション

各分科会で、実施した内容や、そこで出た意見などを紹介しました。参加しなかった分科会で、何が・どんなふうに、行われていたかを知ることが出来ました。

そして最後にフォーラムのまとめです。フォーラム全体・分科会の感想や、これからやってみたいことなどを手持ちの紙に書いて、みんなで見せ合いました。



14:30~

15:30~

FINISH

### 災害



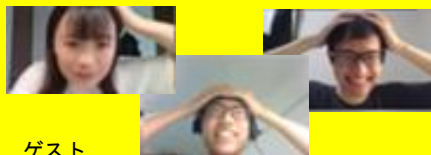
私たちに出来ることは何？

まず、災害ボランティアの経験を石川さんに語っていただきました。

そして、「被災地に対して自分たちは何が出来るか」をグループで話し合いました。

現地に行くだけではなく、正しい情報の拡散や募金も立派な支援です。そして、災害を忘れないことが、とても大切です。

頭を守るポーズで記念撮影！



ゲスト  
石川雄健 日本福祉大学学生  
災害ボランティアセンター所属

### 世代間交流



つながる世代・ひろがる世界

世代間交流ってなんだか堅苦しく感じていませんか？ 実はとっても身近なものなのです。

実際に世代間交流の場でご活躍されている2人をお招きし、お話を聞きました。

また「自分ならどんな世代間交流から始められるか」について話し合いました。



ゲスト  
原島隆行 横浜市六角橋地域ケアプラザ  
地域活動交流コーディネーター  
岩崎洋斗 わかたけ鶴見ケアスタッフ  
神奈川大学OB

### スポーツ(大人)



毎日出来る、健康体操

新型コロナウイルスの影響で、外出が減って、運動不足になっていませんか？

そこで、誰でも毎日簡単に取り組める体操をみんなでやってみました！



# VOICE

## 実行委員の紆余曲折グラフ



## 実行委員の声

### 実行委員 学生代表：中島さえ（神大3年）

「かながわユースフォーラム」の準備から当日までを振り返って、印象的なのはやはり「オンライン」だと思います。私は、ZoomやLINEを使った画面越しの打ち合わせを通して、言葉以外の情報がなかなか伝わらない中オンラインイベントの準備を進めていくことの難しさを感じました。それと同時に、様々な工夫をしていくことで自信につながりました。フォーラムの当日には、改めてこのイベントに関わった人の多さを実感できました。関わってくれた全ての人に感謝するとともに、フォーラムを通じた出会いを大切にしていきたいです。

### 分科会担当（災害）：佐々木和巳（神大3年）

このフォーラムで私は分科会の代表を担当し、初めて「企画側」として参加しました。この活動を通して様々なことを学びましたが特にゲストとの接し方について深く考えさせられました。メールを通じたやり取り方、話し合うための時間調整、話して欲しいこととの食い違い等今までになかった体験だったのでとても苦労しました。ただ総合的に見ると満足感がありました。

### 総合司会担当：日光萌花（神大3年）

自分自身、オンライン授業に慣れず、メンバー同士での情報共有やモチベーションの維持が難しく感じました。空きコマや休み時間などの空いている時間は、ほとんどフォーラムに費やし、正直大変でしたが、こういう状況で唯一友達と話すことができる息抜きのような場でもありました。初めての試みで、うまくいきないうちにもありました。無事に楽しく当日を終えることができて良かったです。

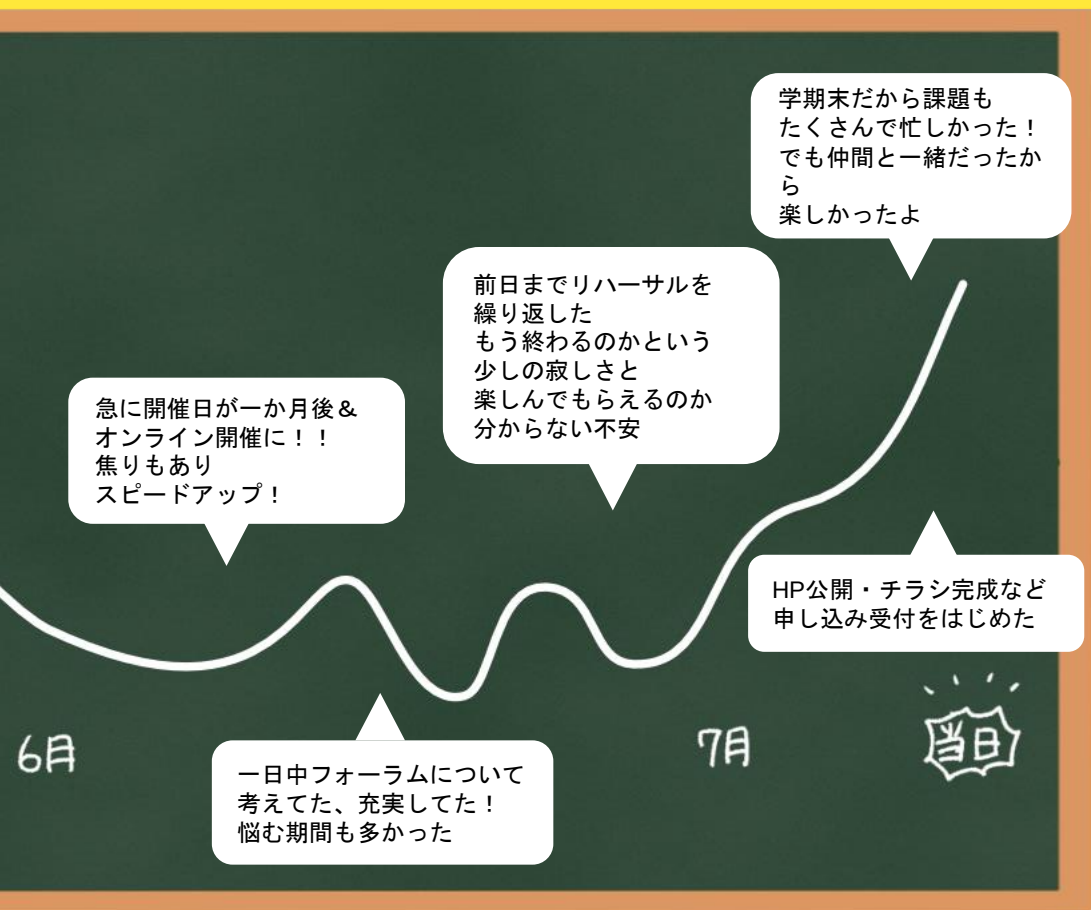
### 4年生サポート：清水理紗子（神大4年）

正直私は自分がサポート役になるまで楽な仕事だなと思っていました。他の人に指示を出して、待っているだけのように見えたからです。しかし思っていたよりも大変でした。みんなの仕事量を把握し、フォーラムが負担になっていないかどうかを気にしながら、自分はあまり口出しをしすぎないようにする。私のグループは優秀な後輩が多く、本当にアドバイスするだけでした。それは楽であり、少し寂しかったです。

### 広報担当：大山奈桜（神大3年）

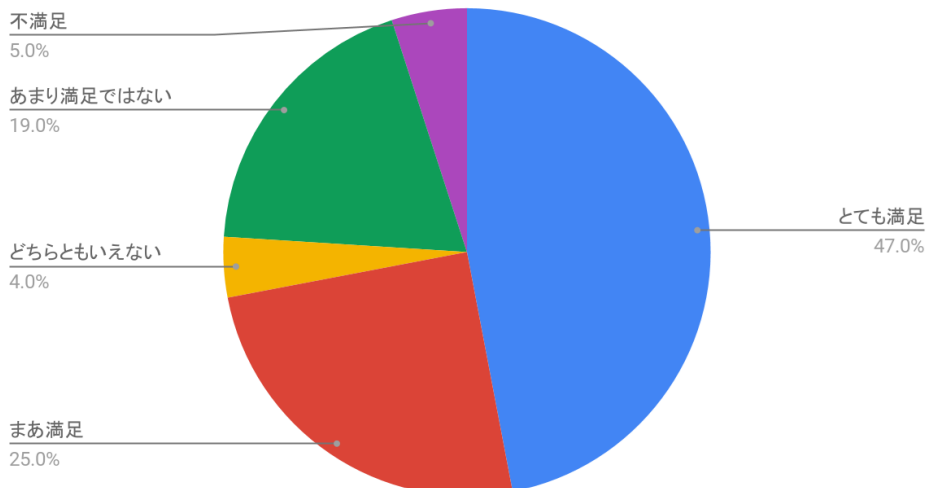
私はホームページ作成を担当しました。ホームページに関わることで、自分が担当している分科会以外の様子が分かり、フォーラムという「イベント全体を作る」意識が高くなったと思います。またチラシをはじめ、広報のデザインを担当した花上さんや、アクションポートの高城さんに、統一感や見やすさなどを修正していただきながら作りました。大変でしたが、楽しかったです。

フォーラムに参加した人に聞きました！「フォーラムに参加してみてどうだった？」



## 参加した人の声

フォーラム全体の満足度



- ・運営側もフレンドリーな雰囲気、楽しかった！
- ・時間が短く感じた、もっと話したかった。
- ・オンラインではあったがチャットやアンケートの機能を使って、実行委員と参加者との相互で行っているという感じがしてとてもよかった。
- ・もっと知りたくなった、ボランティアやってみようと思った。
- ・来年もあるようだったら、違う分科会も行ってみたいと思った。

# CREDIT

## 【協力】

神奈川県大学・社会教育課程学生有志・教職員、横浜市神奈川区役所、  
社会福祉法人神奈川区社会福祉協議会 ボランティアセンター、  
横浜市六角橋地域ケアプラザ（社会福祉法人若竹大寿会）、NPO法人アクションポート横浜

本事業は、横浜市神奈川区「かながわ地域支援補助金支援事業（スタートアップコース）」  
（2020年度）の補助を頂きました。

## 【主催】

### かながわユースフォーラム実行委員会2020

#### 全体会

中島さえ(3年生)

#### 子ども

清水利紗子(4年生)  
三木静菜(3年生)  
佐藤千夏(3年生)  
村松勇祐(3年生)

#### 多文化共生

日光萌花(3年生)  
坂口天駿(4年生)  
石川稚子(3年生)  
花上愛香(3年生)  
稲垣良昌(3年生)

#### ジェンダー

渡邊愁(3年生)  
藤田拓実(3年生)  
大山奈桜(3年生)

#### 災害

佐々木和巳(3年生)  
遠藤裕香(3年生)  
安達早那(3年生)  
板垣颯太(4年生)

#### 多世代交流

小島理瑚(3年生)  
松本海斗(4年生)  
保科歩美(3年生)

#### スポーツ(大人)

早坂翼(3年生)  
似鳥晴規(3年生)  
三輪翔真(3年生)  
松尾凌我(3年生)  
大川原みなみ(2年生)  
高久李美(2年生)

#### 子どものスポーツ

今川暉一朗(3年生)  
石原大樹(3年生)  
増村有哉(3年生)  
有安晟真(3年生)  
作井由樹(3年生)  
三井寺歩武(3年生)

#### その他応援の学生

清光希(3年生)  
中山就太(3年生)  
朴智婉(3年生)  
岡野将也(3年生)

## 【アドバイザー】

#### 齊藤ゆか

(神奈川大学 社会教育課程教授)

#### 長浜洋二

(モジヨコンサルティング合同会社代表)

#### 鈴木英夫

(神奈川大学 教職課程教授)

#### 宮地悠希

#### 宇田梨々花

(神奈川区社会福祉協議会)

#### 原島隆行

(横浜市六角橋地域ケアプラザ 地域交流コーディネーター)

#### 高城芳之

(NPO法人アクションポート横浜代表)

#### 市川洋行

(神奈川大学 総務部地域連携室)